

# 恩林寺広報

令和二年(二〇二〇)盛夏号  
 臨濟宗建長寺派東光山恩林寺  
 電話 〇二七六一八八―三五六四  
 F A X 〇二七六一八八―四一三二  
 郵便番号 三七〇一〇六〇一

## ●暑中お見舞い申し上げます

## プライバシー保護のため

### 新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い

檀信徒各家におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度の新型コロナウイルス感染症拡大を受け、当山に於きましても、諸行事、法事等の中止や延期、葬儀の縮小等々、対応に追われる日々が続いて居ります。引き続きコロナ対策(手洗い・マスク着用・換気等)や規模縮小などに努めながら、当山が感染源にならない様、対応して参りたいと思っております。併せて檀信徒の皆様方にも、感染拡大防止の取り組みへのご理解とご協力をお願い致します。日々厳しい状況の中、最前線で闘う医療従事者の方々に心からの敬意を表しますと共に、闘病中の皆様の治癒と、一日も早く事態が収束し日常が戻ることを願いつつ、皆様方もくれぐれもご自愛戴きます様お願い申し上げます。

### 新型コロナウイルス感染に伴う盆中の諸行事の注意

新型コロナウイルス対策(手洗い・マスク着用・換気等)や規模縮小にして、以下の行事を執行行いたいと考えて居ります。  
 ●八月十三日迎え盆の灯明は、一家につき一提灯とさせていただきます。  
 ●八月十四日当山施餓鬼会法要は、当山住職、責任、総代役員、新盆を迎える各家代表者一名のみで執行致します。  
 ●ご協力戴いて居ります「盆供」の受け付けは八月十四日日本堂前受付でお願い致します。尚、十四日に限るものではありませんので、十四日以前、十四日以降でも対応して参りたいと思っております。よろしくお願致します。  
 ●施餓鬼塔婆のお申し込みは、通常対応致します。

## ●新盆をお迎えする家

## お盆 先祖さまを迎えて

精霊棚は、帰ってきた先祖さまが、くつろがれる部屋

たとえば珍しいお客さんが訪れてくる時、たいへん部屋を掃除し、その人の好物などを用意してお迎えするのが普通です。  
 お盆は年に一度、遠いところから先祖が帰ってくる日です。帰ってこられた先祖さまが、ゆったりとお休みになられるよう、部屋を用意しご馳走

をどうぞ、というのが、仏壇を飾ったり、精霊棚を作ったりする理由です。  
 仏壇が一般庶民の家に備えられるようになったのは江戸時代になってからです。  
 それ以前は先祖の霊を迎えるために棚を作っていました。精霊棚は、その名残り、という説もあります。  
 精霊棚でおなじみなのはナスやキュウリで作られた牛と馬です。この動物は訪れてくる先祖の乗り物とされています。  
 来る時は馬に乗って懐かしいわが家へ、帰る時は、牛に土産を積みゆつくりお帰り下さい、ということでしょうか。  
 先祖を想う昔の人の優しい心が偲ばれます。

### 住まいの事情で「精霊棚」を準備できない場合は

仏壇を飾り、精霊棚を作って、花を飾り食物を供え経をあげるのとは、先祖に対する感謝の心をかたちに表した先祖供養の心、報恩の営みです。  
 しかし、現在の住まいの事情を考えると、精霊棚を作るのは難しいかもしれません。そんな場合は、仏壇に果物や野菜など、お盆にみさわしい飾りをします。  
 また、仏壇の前に小机を置き、新品のテーブルクロスを敷き故人の好物を供えたりしたらいいかでしょうか。

### ◎御朱印はじめてみませんか

御朱印の最大の魅力は、神仏とのつながりを感じられることです。境内の凜とした空気に癒され、日常のストレスから開放され、心の安らぎを感じられる瞬間があるはず。その感覚こそが、神仏を身近に感じられたという事です。



「仏」とは仏陀、「法」は仏陀の教え、「僧」は教え実践する人を意味します。印には「仏法僧宝」と刻まれています。

御朱印は巡礼者が書き写した経文をお寺に納めた際の受取印としてはじまったという説が有力です。

## お盆の準備

宗派や地域によって異なる場合もありますがお盆を迎える準備として、前もって仏壇や仏具を清めておきます。そして墓掃除も丹念にしておきましょう。

### ●精霊棚をしつらえる

ご先祖の霊をお迎えする為に準備はしっかりとっておきたいものです。お盆に帰って来られるご先祖を「精霊さま」と呼びます。その為にしつらえるのが「精霊棚」です。「精霊棚」は、帰って来られたご先祖様がしばしの休息をする場所です。果物や野菜などを供え、ご先祖様をもてなすのです。「精霊棚」のキュウリの馬、ナスの牛は、ご先祖様の乗り物とされています。

### ●迎え火(八月十三日)

夕刻に菩提寺にて灯明を戴き、ご先祖様をお迎え下さい。火を焚くのはご先祖への思いやりの心です。ご先祖に対する供養の心が火を焚く行為だと言えます。

### ●ご供養(八月十四、十五日)

お盆中は灯明を絶やさず、迎え入れたご先祖様のご供養をします。また、当山では十四日に大施餓鬼会法要を営み、ご先祖供養を致して居ります。ご都合に合わせて「盆供」の受付をお済ませください。

### ●送り火(八月十六日)

十三日に訪れたご先祖の霊がお帰りになる日です。送り火はご先祖が迷わず帰れるよう、照らしてあげるものです。

### ●施餓鬼会

お盆の期間に営まれる行事は「施餓鬼会」です。この行事は、餓鬼に食物を施す事によって六道の一つ餓鬼世界で苦しんでいる餓鬼を救う行事です。もし自分の先祖が餓鬼世界で苦しんでいるとしたら、何としてでも救ってあげたいものです。餓鬼は自分の力では苦しみから脱する事はできません。施餓鬼の供養がその救いの道とされている、究めて功德の大きい行事です。

### ●「送り盆」時のお願

各家精霊棚にお供え戴いて居りました供物につきまして、「ナス」「キュウリ」については当山にて処分致しますが、それ以外の供物等につきましては寺へ持ち込まず、ご自宅にて処分致します様、ご協力の程、よろしくお願申し上げます。